

## 令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立三瀬中学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校生徒の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

### ■ 調査期日

令和6年4月18日(木)

### ■ 調査の対象学年

中学校3年生生徒

### ■ 調査の内容

#### (1) 教科に関する調査(国語, 数学)

- |  |
|--|
| ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。<br>②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。<br>調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。 |
|--|

#### (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

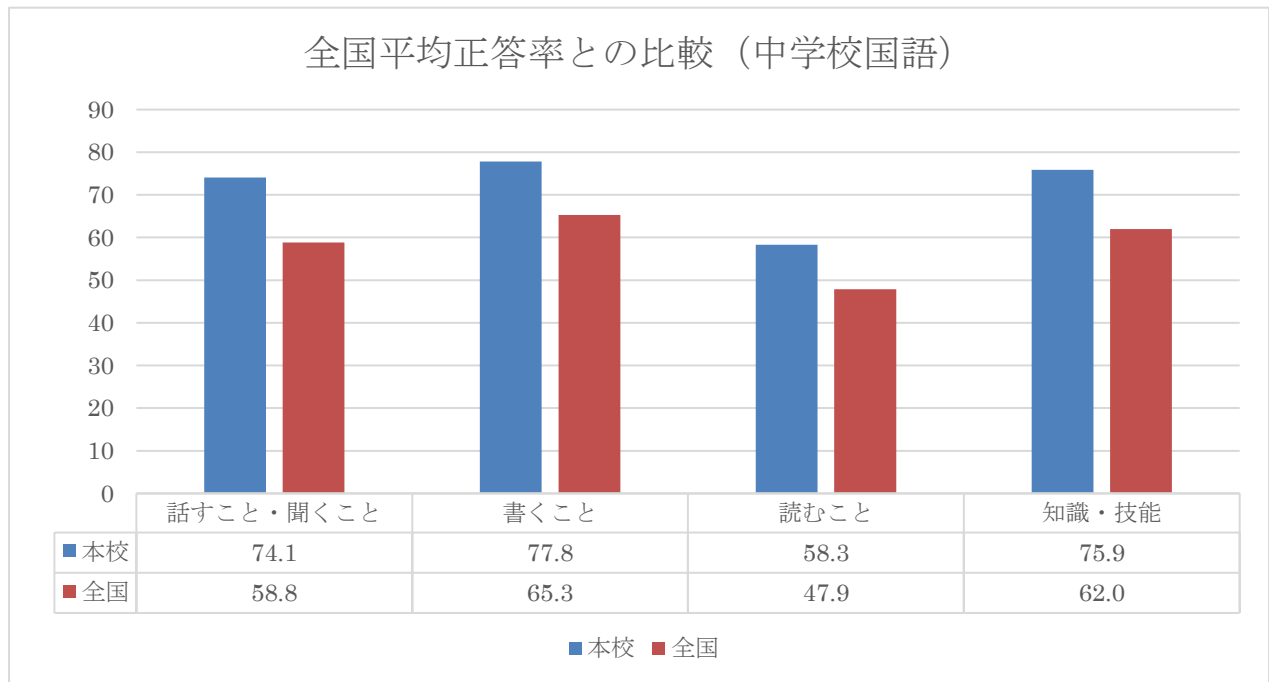
生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲, 学習方法, 学習環境, 生活の諸側面等に関する調査 (例) 学習に対する興味・関心, 授業内容の理解度, 基本的な生活習慣, 家庭学習の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組, 指導方法の工夫, 学校運営に関する取組, 家庭・地域との連携の状況 など

### ■ 調査結果及び考察について

全国学力・学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご覧ください。

## ■ 調査結果及び考察

### 1 国語



#### (1) 結果

すべての領域で全国の前答率を上回っており、特に「話すこと・聞くこと」は 15.3 ポイント、「知識・技能」は 13.9 ポイント上回っており、基礎基本が定着していると考えられます。ただ、漢字を書く問題や自分の考えを記述する問題で無回答の生徒が一定数いました。

#### (2) 成果と課題

ほとんどの問題で全国の前答率を上回っています。特に「意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる」問題、「表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかをみる」問題、「文章に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる」問題では全国を 20 ポイント以上上回っています。一方で無回答の生徒がいた問題が3問ありましたが、その問題はすべて前答率が全国を 20 ポイント以上上回っていました。つまり、正しく答えることができた生徒と同時に回答に困難さを感じている生徒もいるということで、個別の対応が必要であるといえます。また、「具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる」問題や「目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる」問題では全国の前答率を下回っており、読み取った情報を正しく分析する学習が必要であるといえます。

#### (3) 学力向上のための取り組み

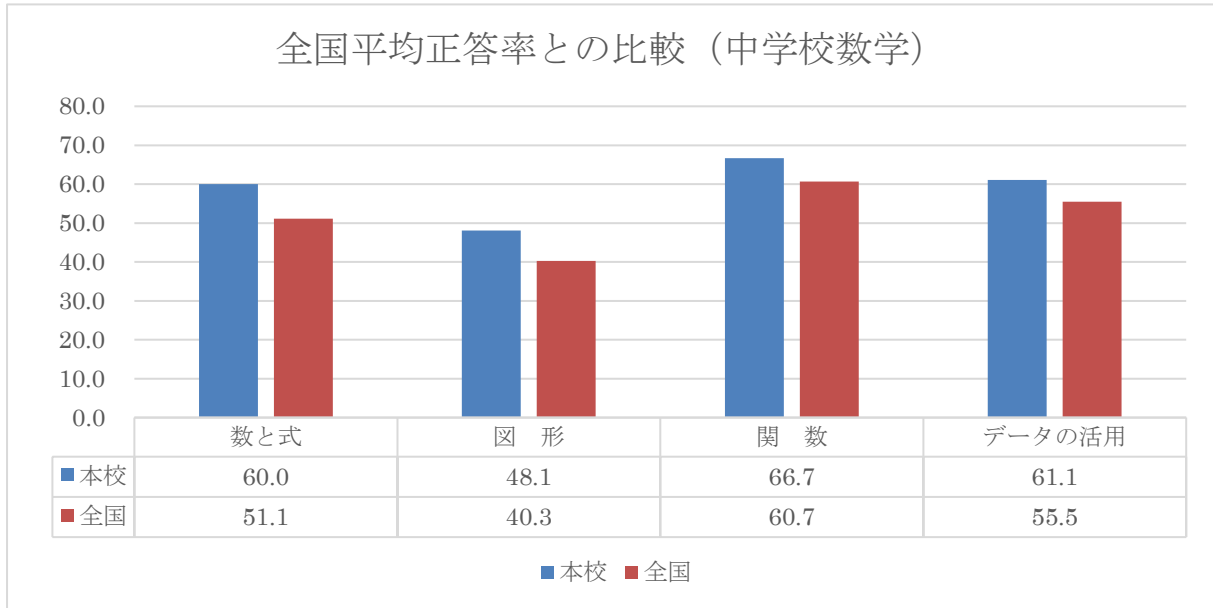
##### 【学校では】

- 記述することへの苦手意識をなくすために、授業の中で「書く」活動に取り組みます。その際に型（テンプレート）を示すなどの手立てを準備します。
- 文章を分析し、自分の考えを持ちながら「読む」ことに取り組みます。その際に、周りの友だちと意見を交流させる時間を設けます。

##### 【ご家庭では】

- 親子でたくさん会話をしてください。テレビや新聞などで四字熟語や故事成語などの難しい言葉、専門用語が出てきた際には意味や使い方などを話題にして語彙を増やす手助けをお願いします。
- できれば御家族で読書する時間を設けて下さい。三瀬公民館の図書室もぜひ御活用ください。読書は単なる学習とは違い、「楽しい時間」「趣味」にもなり得ます。御家族で読書して、本の情報を交換したり、感想を述べ合ったり楽しく文章に触れてください。

## 2 数学



### (1) 結果

上のグラフのとおり、全国平均をすべての領域で上回っていました。特に数と式の正答率は9ポイント近く上回っていて、基本的な計算の技能がしっかり身に付いていることがわかりました。問題形式別では選択式で12.6ポイント、短答式で3.4ポイント、記述式で6.3ポイント全国平均を上回っていました。

### (2) 成果と課題

ほとんどの問題で全国平均を上回っていたことは、生徒たちの日頃の頑張りがよく表れているものだと思います。特に数や文字を使った計算をする問題ではとても高い正答率でした。ただし、全体を通して、説明の文章が長くなると正答率が落ちる傾向が顕著に見られました。活用の問題での数学的な見方や考え方を問われる問題での正答率も全国平均を上回っていますが、問題文が長くなると、適切に情報を読み取ることができずうまく思考が働いていないことが考えられます。

また、短答式、記述式の問題では、選択式に比べて全国平均との差が大きくありませんでした。このことから、文章表現や文章読解の力に課題があると思います。

### (3) 学力向上のための取り組み

#### 【学校では】

- 継続して、基礎的・基本的な計算技能を身に付けられるよう指導していきます。また、事柄が成り立つことの説明を振り返り、新たに成り立ちそうな事柄を予想する活動や、図形の性質を理論的に考察し、表現する活動を取り入れることで、表現する力を高めることで、文章読解力を高めていきます。
- 様々な見方や考え方ができるように、話し合う活動を取り入れていきます。また、自分の考えを、式や言葉を使って、論理的に書く機会を増やし、記述力の向上を目指します。
- 授業における学習活動や課題を通して、日々の指導の中で個々のつまずきを早期に見つけ、補充指導を行います。

#### 【ご家庭では】

- お子様のドリルやプリント等の宿題の様子やテストを御覧になって、たくさん励ましや称賛の言葉を掛けてください。
- タブレットの持ち帰りを始めています。学習用端末を利用したドリル学習もできるようになりましたので、お子様が積極的に利用できるようなお声掛けをよろしくをお願いします。

### 3 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

#### (1) 結果

※「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」のうち「当てはまる」と回答した生徒の割合。

《生活習慣・自己肯定感・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	100%	79.1%
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	11.1%	34.9%
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	55.6%	55.3%
自分にはよいところがあると思いますか。	33.3%	40.4%
将来の夢や目標を持っていますか。	22.2%	36.1%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	44.4%	68.6%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	66.7%	77.5%

朝食を全員が毎日食べていることはとても素晴らしいことです。今後とも御家庭での支えをよろしくお願ひします。本校の生徒たちは、学習や学校行事、部活動等に熱心に取り組んでおり、その努力の過程や成長ぶりについて周囲から高い評価を言葉で受けていますが、自己肯定感の高揚にはつながっていないようです。継続して、自分のよさに気付かせ、自信をもたせることができるような働きかけをしていきます。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。「3時間以上」	0%	9.2%
「2時間以上、3時間より少ない」	11.1%	22.5%
「1時間以上、2時間より少ない」	33.3%	32.6%
「30分以上、1時間より少ない」	22.2%	18.4%
「30分より少ない」	33.3%	10.4%
「全くしない」	0%	6.6%

家庭学習については2時間以上学習している生徒の割合が、全国平均に比べて大きく下回っています。全くしない生徒はいませんが半分以上の生徒が1時間より少ないと答えていました。家庭学習を習慣づけるための働きかけをしていきます。

#### (2) 改善に向けての取り組み

##### 【学校では】

- 学校からは、家庭学習の習慣を身に付けさせたいと考え、曜日で教科を指定して、自学ノート（Jノート）に取り組ませています。また、各教科から授業に関連した課題にも取り組ませています。今後も、担任や教科担当が家庭学習の重要性や取り組み方について指導していきます。
- 基礎・基本の定着を目指し、始業前の時間に、デジタル教材を使ったドリル学習を行ったり（スキルタイム）、確認テスト（すくすくテスト）を行ったりしています。すくすくテスト後は、昼休みや放課後に個別の指導をしています。

##### 【ご家庭では】

- 規則正しい生活と家庭学習習慣の定着は、極めて大切なことです。自分の生活について振り返りを行いながら、よりよい生活を送るよう励ましてください。少しでも向上が見られたときを逃さず、褒めることで意識が更に高まります。
- 「家庭学習の手引き」を御覧になり、学習時間のめやすや自主学習の説明を参考にして、自分で計画して学習できるように励ましていただきたいと思います。
- タブレットの持ち帰りを始めています。学習用端末を利用したドリル学習もできるようになりましたので、お子様が積極的に利用できるようなお声掛けをよろしくお願ひします